

# I. <報告編>

## 1. 調査概要

### 1.1.調査目的

市民の節水調査は全国の水道局が個別で行っており、ポピュラーな調査項目となっている。内閣府でも「節水に関する特別世論調査」を定期的実施しており、概ね高い割合の人々が節水を行っているという結論が導き出されている。

しかし、当センターで16年に渡り継続している「水にかかわる生活意識調査2010年版」を見ると、若年層の節水意識は20歳代と40歳代以上とは異なり、水道に関する評価も若年層と中高年層とは異なることが明らかになっている。

今後の水道インフラや水循環に資する社会資本を長期的に支え利用するのが若年層である以上、現在の若年層の節水意識をより詳細に調査することは重要だ。そこで、本センターでは東京圏居住の「20歳」、ならびにその比較対象として「30歳」を対象に節水意識の実態を明らかにする調査を実施することとした。

### 1.2.調査概要

(1)調査対象者 (東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県) 居住の20歳と30歳 800名。

及び調査対象数：但し、20歳・30歳ともに10月1日に当該年齢で、下記の条件を設定した。

20歳：1990年4月2日～10月1日生まれの人(2011年1月10日に成人式を迎える人)

30歳：1980年4月2日～10月1日生まれの人、とした。

表 1.調査対象者数

		男性	女性	総計
20歳	独居	100	100	200
	同居	100	100	200
30歳	独居	100	100	200
	同居	100	100	200
総計		400	400	800

(2)調査方法：インターネット調査

(3)調査期間：平成22年10月20日(水)～10月26日(火)

※注※ 割合については四捨五入して表記したため合計が100にならないことがある。

### 1.3.回答者の属性

20歳、30歳各回答者の職業、婚姻、子どもの数は以下の通りである。

表 2.調査対象者の属性

		20歳	30歳	総計
職業	学生	341	4	345
	会社員	22	288	310
	自営業	0	16	16
	その他	37	92	129
婚姻	未婚	395	280	675
	既婚	5	120	125
子どもの数	0人	396	334	730
	1人	3	44	47
	2人	1	21	22
	3人		1	1

20歳 400名の内、学生は85.3%となっている。一方、30歳 400名の72%が会社員、30%が既婚者、16.5%が子どもをもっている回答者となっている。